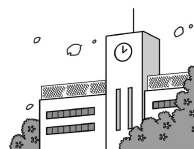


結 実

令和3年7月16日

No 17



1学期も、今日を入れて、あと2日を残すのみ！



4月には、「長いなあ～」と思った人もいたかもしれません。

しかし、あと2日で“夏休み”。7月に入ると早さを感じた

かもしれませんね。

『思い出を残そおっ！』なんていうCMが流行っていた時代もありました。来週の7/20(火)には、それをリアルに実行してほしいと思います。



投票で選ばれた作品の作者の指示に従い、60年の歴史に相応

しい『**黒板アート**』を完成させよう！

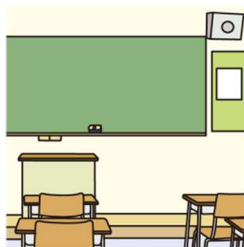
先日の落雷で、故障してしまった校舎。

言い方を変えれば、夏の猛暑や冬の寒さ、台風などの自然と闘い今に至っています。

その校舎に「感謝の気持ち」をもってあと2日、過ごしてほしいと思います。



- ①、言い訳を考えない
- ②、「今でしょ！」を実践していく
- ③、やるべき問題集等を決める
- ④、志望校を真剣に考える



<夏休みは……>

幅広く情報収集をつかもう！ まずは、気になる高校は、調べよう。三者面談で言われた人もいると思いますが、どうして、この高校を志望するのですか？ この高校を選んだ理由は？ などです。本や、インターネットで調べることは大切ですが、紙や画面、受験情報誌などで出されている偏差値では表されないものがあります。

「百聞は一見にしかず」という諺があります。本屋インターネットの情報だけでは分からない「雰囲気」や「感じ」というものがあります。自分が「三年間通うんだ」という気持ちになれる高校を選択しよう。そして、その高校へ入るための勉強をしていく、努力をしていく、という風につながっていくといいと思います。

この夏休み、今までとは違う夏休みにしよう。

学校説明会・個別相談
体験授業など、
自分から進路選択への
行動をおこそう！

靴のいろいろ

谷川 俊太郎

ふと振り向いたら
脱ぎ捨てたスニーカーが
たたきの上で私を見つめていた
くたびれて埃まみれで
あきらめきった表情だが
悪意はひとつも感じられない

靴にもところがある
自分にもところがあるからそれがわかる
靴は何も言わないが
何年も私にはかれて
街を歩き道に迷い時にけつまずいた
もう身内同然だ

新しい靴がほしいのだが……



※ 裏面に、夏休みの課題を載せました。出来るだけ、早めに終わらせ、3年生として受験勉強に、たくさんの時間をかけられるようにしていこう！

部活動があった昨年までの夏休みと違い、自分で計画をたて、自分でコントロールをしていかなければなりません。起きるのも自由、寝るのも自由、ゲームも自由では、自分の「夢」を達成することは………？



自分の意思で“時間をコントロール”しよう！

東京都中学校英語スピーキングテスト 確認プレテスト

中学校における生徒の英語「話すこと」の力を評価し、英語教育の充実や改善に役立てるため、令和4年度より『中学校英語スピーキングテスト』が実施されます。そのため、今年度は東京都の中学校に在籍する第3学年全生徒を対象に確認プレテストが行われます。

本校では10月1日（金）（都民の日）に保谷高校において、テストを受けます。保谷高校までは教員が引率します。先日、学校でPC室を利用して申し込みをいたしました。

なお、今年度につきましては「プレテスト」のため、結果が入試などに関わることはありません。

<来週の予定>

	予 定						行事予定	給食
7/19(月)	集	○	○	総	—	—	①学年集会	○
7/20(火)	掃	式	学	学	—	—	①大掃除 ②終業式 ③学活・黒板アート	—

※ 8/30(月) 2学期始業式

落ちこぼれ

茨木のり子

落ちこぼれ

和菓子の名につけたいようなやさしさ

落ちこぼれ

いまは自嘲や出来そこないの謂

落ちこぼれないための

ばかばかしくも切ない修行

落ちこぼれこそ

魅力も風合いも薫るのに

落ちこぼれの実

いっぱい包容できるのが豊かな大地

それならお前が落ちこぼれる

はい 女としてはとくに落ちこぼれ

落ちこぼれずに旨げに成って

むざむざ食われてなるものか

落ちこぼれ

結果ではなく

落ちこぼれ

華々しい意志であれ



小さな質問

高橋 杞一

すいーつ と 空から降りてきて

水辺の

草の

葉先に止まると

背筋をのばし

その子は

体ごと

神さまにきいた

なぜ ぼくはトンボなの？

神さまは

人間にはきこえない声で

その

トンボに言った

ここに今

君が必要だから

こころにつぼみが

杉本深由起

だれかにやさしくされたら

だれかに

やさしくしたくなる

こころにつぼみがふくらんで

パツと

花がひらく

たんぽぽみたいだね

「ありがとう」

つて咲いた花は

綿毛になり

また

だれかのこころに

とんでいく

わたしとだれかの

こころ ころころ

春にして

靴のころろ

谷川 俊太郎

ふと振り向いたら

脱ぎ捨てたスニーカーが

たたきの上で私を見つめていた

くたびれて埃まみれで

あきらめきった表情だが

悪意はひとつも感じられない

靴にもころろがある

自分にもころろがあるからそれがわかる

靴は何も言わないが

何年も私にはかれて

街を歩き道に迷い時にけつまずいた

もう身内同然だ

新しい靴がほしいのだが……